

# 平成25年新春座談会

## New Year Round Table Talk

町の各分野でご活躍中の9名の皆さんにお集まりいただき  
広報編集委員4名が座談会形式でインタビューをしました。  
いったいどんな話がされたのでしょうか。

高木広報編集委員（以下高木委員）  
ヤマダ電機と住宅会社との住宅地開発やメガソーラーの設置による太陽光発電など、ニュータウン開発の進捗は？ また、その進捗具合はどのよう  
にしたら知ることが出来ますか？  
町長 いろいろな企業に打診をしている中で、群馬県企業局の骨折れも功を奏して、ヤマダ電機の進出が決定しました。現状は、まだ計画が始まったばかりですが、年間電気代ゼロを目指した住宅を2年間で500戸の販売を目指していくということです。太陽光発電というのはそういった方向に進んでいくといったメッセージにもなるわけで、そのためのメガソーラーは5ヘクタールの面積を使い、県が実施する予定です。加えてヤマダ電機がスマートハウスで使う電化製品などのショーウィンドーの役割を持たせた店舗を駅前に出店したいという計画を伺っています。

また、町民の皆さんがどうやって情報を知るかということですが、ヤマダ電機、県、町と3者が情報の発表に合意してからというのが前提になります。議会、行政区長会、広報紙などを通じてお知らせしていきます。

緊急時は遠慮せず連絡を

高木委員 町の安全・安心を守るための、ご苦労をお聞かせください。



議会議長  
のなかよしゆき  
野中 嘉之

体育協会長  
みやたあきら  
宮田 明

文化協会長  
こぐれひさお  
小暮 久雄

農業委員会  
あらいかいちろう  
荒井 嘉一郎

消防団長  
もりだこういち  
森田 孝市

民生児童委員協議会  
ますだこういち  
増田 宏一

商工会長  
いちざわこういち  
市澤 孝一

教育長  
すずきみのる  
鈴木 実

町長  
くりばらみのる  
栗原 実

公約達成を最優先に

田部井広報編集委員（以下田部井委員）4年間を振り返り、一番苦労された点は？  
また、2期目を迎え最優先に取り組みたい課題は何ですか？



栗原町長（以下町長）  
最近、公約というのはスローガン化している傾向がありますが、それは違うと思うのです。

公約を信じて投票してくれた人のためにも公約を達成するために全力を注いできました。苦労したのは、公約を守るということでしょうか。

2期目の最優先事項とのことです。が、あえて申し上げれば、危機管理が最優先だと思っています。いつ何が起こるか分からない中で、災害を最小限に抑えること、これに尽きます。

また、町政運営の基盤は財政ですから、財源がないと何もできないというように財政の活性化、企業誘致、商業誘致などに取り組んでいきたいと思っています。併せて、新庁舎建設や福祉、ごみ処理施設の問題など、テーマに順番は付けられませんが、どれも重要な課題ですので並行して取り組んでいきたいと思っています。



森田消防団長  
消防団は、町民の生命、身体、財産を守るために、ポンプ操法訓練や冬場の消火栓点検、水不足

に対応するため、中継訓練などを行っています。団員の確保は難しいですが、行政区長をはじめとする地域のかたの御協力により、欠員はほぼない状態です。しかし、団員のサラリーマン化で、平日昼間の時間帯に、大規模災害が発生したときに心配されます。

また、老人の徘徊など、行方不明者が出た場合、以前は担当地区の消防団員だけ出動していましたが、行動範囲が広いということで、今は全地区の団員が出動しています。万一の場合は遠慮しないで連絡してください。

農業分野でも進む高齢化

関根広報編集委員（以下関根委員）板倉町という、お米、きゅうりと農業が有名ですが、農業委員会はどのくらい関わっていますか？



荒井農業委員会  
板倉町は農業立町と言われるように、2,600haの農地と1,800戸余りの農家数があります。課題は高齢化で、65歳以上で